下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信

令和6年5月1日　第46号
奈良県下市町教育委員会
教育長　上東　祥浩　発行

入学式・入園式を挙行　～あきつ学園・こども園～

桜花爛漫、美しく咲き誇る桜に見守られ、4月9日（火）にあきつ学園の入学式、10日（水）にこども園の入園式が行われました。それぞれ学校園では、晴れ晴れしい雰囲気の中、新入生（16名）・新入園児（5名）が、元気よく入学・入園してきました。

あきつ学園の柳井校長先生は、「みんなで仲良く力を合わせること」「新たなことに気付いたり、発見したりすること」の大切さについて、わかりやすくドラエもんのお話を引用され、期待を込めて新入生に送られました。**こども園の中本園長先生**は、「こども園はとっても楽しいところです。広い運動場でたくさん遊んだり、歌を歌ったり、みんなで給食を食べたりして、楽しい毎日を過ごしましょう。」と話されました。今年のこども園の入園式には、5歳児のぞう組さんも出席しました。式の最初に国歌斉唱・園歌や校歌合唱があり、子ども園・あきつ学園ともに素晴らしい歌声で新しい仲間を迎えてくれました。それぞれ学校・園では令和6年度がスタートし、学習に運動に遊びに楽しく頑張っています。

【下市こども園全園児数（32名）　下市あきつ学園全児童生徒数（181名）R6.4.1現在】

下市こども園　～活動の様子～

新学期となり、新入園児が入園し、それぞれ進級しました。なんだか、急に大きくなったように思われます。園児たちは、教室で歌を歌ったり、運動場の遊具で遊んだりして元気いっぱい活動しています。また、遊戯室の横に並べれた絵本等で読書を楽しむ時間も設けられています。給食の時間になると、エプロンをつけた園児たちが、協力して手際よく準備をしている姿を見て、園児たちの行動力の素晴らしさに感激しました。

「いただきます」

砂場でのお遊び

たのしく歌ってます

モルックってどんな競技？

4月7日（日）、下市町体育協会主催のモルック大会が下市中央公園で開催されました。あまり聞き慣れない競技ですが、はたして、モルックとはどのような競技でしょうか。？

モルック棒

スキットル

簡易のルールは下記のとおりです。

◇チームは、2人～4人。
◇3～4m離れたところに並べられたスキットルをモルック棒で倒す。
◇1本倒れた場合は、スキットルに書かれた数字が点数。
◇2本以上倒れた場合は、倒れた本数が点数。
◇合計が先に50点ぴったりとなれば勝ち。
◇50点を超えると25点にもどってやり直し。

今回の大会は、伊邑Bチームが優勝されました。

いまどき教育事情　教員の休日部活動指導廃止　令和8年度～

▼本県では今年の2月に、「令和8年度から公立中学校教員の休日部活動指導が廃止する」と発表がありました。令和5年度から令和7年度までの3年間を公立中学校部活動の「改革集中期間」と位置づけ、休日の部活動を令和7年度末までに地域移行を進めるとしています。▼国は、令和4年度に休日の部活動を地域へ移行していくための方向性を示したことから、本町では、昨年度より、下市町教育委員会が『下市あきつ文化・スポーツ振興会』の任意団体を立ち上げました。▼平日は、あきつ学園で後期課程生徒が部活動として実施していますが、休日は、『下市あきつ文化・スポーツ振興会』のクラブとして活動を行っています。生徒数の減少により、クラブ数を増やすことは困難なことですが、現在活動している子どもたちのクラブ活動が持続可能なものになることを願い取り組んでいます。▼各クラブの指導員には、専門的な知識を持たれた地域等の方々やあきつ学園の先生方が登録いただいています。地域の方々で新たに指導員として、ご協力いただける方は、下市町教育委員会までご連絡ください。活動しているクラブは、下記のとおりです。

※下市あきつ文化・スポーツ振興会で指導いただいているあきつ学園の先生方は、教員としてではなく、指導員として、兼業・兼職しています。

平日の活動【下市あきつ学園】		休日の活動【振興会】
陸上部	→	下市あきつ陸上クラブ
卓球部	→	下市あきつ卓球クラブ
水泳部	→	下市あきつ水泳クラブ
音楽部	→	下市あきつ音楽クラブ

学校運営協議会と地域学校協働本部が両輪として

▼町教委では、子どもたちの笑顔があふれる学校・地域として持続可能なものにしていくため、「地域と共にある学校づくり」の取組を充実させていく必要があると捉えています。それには、『地域学校協働本部』の役割が重要です。▼『地域学校協働本部』とは、地域学校協働推進員を中心に、学校教育を支援するためにボランティア等で活動する組織です。▼現在、あきつ学園では、『学校支援ボランティア』として、「環境美化ボランティア」「図書ボランティア」「学習地域ボランティア」があり、登録いただいている地域の方々にご支援いただいています。▼さらに充実させていくために、『地域学校協働本部』の明確な組織化を図るとともに、既存のボランティア活動を含め、学校が実施してもらいたいと考えてる内容と地域が実施できる内容を整理する必要があります。本年度、改めて『学校支援ボランティア』を募集させていただきます。「子どもたちのために少しでも協力したい」という気持ちで関わっていただければ幸いです。

▼5月に入り、草木の若葉がまばゆく、耳を澄ますと聞こえてくる鳥たちのさえずりに『目に(は)青葉　山ほととぎす　初鰹【作：山口素堂】』の句がぴったりの季節の到来を感じます。▼昨年は、5月に梅雨入りとなりました。今年はどうでしょうか。線状降水帯等による集中的な大雨が予想される場合は、早め々の対応が必要です。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp